

欽明天皇

【之】

01

天皇愛之

天皇愛(うつくし)びたまひて

乃告之

乃ち告げて

遂遣放之

遂に遣放(ゆる)して

09

宜善圖之

善く圖るべし

尚不剋之

尚し剋(か)たずありき

10

深責罵之

深く責め罵る

悔往戒今之

往を悔い今を戒め

一舉兵而取之

一ら兵を擧げて取らむ

卿其戒之

卿其れ戒(つつし)みて

11

并上表之

并せて表上(たてまつ)る

12

百濟紀臣奈率彌麻沙等罷之

百濟の紀臣奈率彌麻沙等罷りぬ

14

尚未成之

尚し成らず

不可出之

出るべからず

15

任那恐難建之

任那、恐るらくは建て

19

爾其戒之

爾其れ戒めよ

不得往之

往づること得らざるなり

20

爾其戒之

爾其れ戒め

而遂有之

遂に有(たも)つ

各自耕之

各(おのおの)自ら耕して

自餘虚妄必多有之

自餘(このほか)虚妄必ず多きに有らむ

臣深懼之
臣深く懼(お)づらく

亦復然之
亦復(また)然り

思欲朝之
朝(つかへまつ)らむと思欲(おも)ふとも

22
故遣召之
故に召び(よ)に遣はす

聖明王謂之
聖明王謂(かた)りて

故猶置之
故、猶置きて

23
不敢近之
敢て近づかず

27
故造之矣
故に造りたてまつる

36
然馬津之役虜謂之
然れども馬津城の役に、虜の謂りて

即自遣之
即ち自から遣(や)らむ

40
所乞軍者依願停之

乞す所の軍は願いに依りて停めつ

41
故遣使之
故に使を遣す

42
方欲還之
方に還らむとす

唯從勅之
唯だ勅の從(まま)ならむ

48
西蕃諸国一皆禮之
西蕃の諸国、一に皆禮(うやま)ふ

52
天皇心異之
天皇、心に異(あや)しびたまひて

55
受之天皇
天皇に受けたまはりて

59
皆依請代之
皆請すに依りて代ふるなり

62
焚城拔之
城を焚きて拔りつ

若但斯羅者
若し但斯羅のみならば

故止之
故止めつ

63
惠報答之
惠、報答(こた)へて

77
湍攻破之
湍(と)く攻めて破る

運戟撃之
戟を運して撃つ

河邊臣欲就談之
河邊臣、就きて談らはむ

87
宜速還之
速やかに還すべし

膳臣聞之
膳臣、聞きて

具為與之
具さに爲與(かしあた)ふ

92
死無恨之
死(みまか)るとも恨むこと無けむ

【者】

20
皆由内應貳心人者
皆内應貳心ある人に由りてなり

55
事若實者
事、若し實ならば

75
若是實者
若し是實ならば